

野生イノシシ対策

地域全体で取り組もう!!

イノシシの生息しにくい環境づくりが対策の第一歩です

あれ! イノシシの「大好物」です!



イノシシが食べたタケノコ

- 廃棄した農産物やタケノコ、ドドメ（クワの実）、クリ、カキはイノシシの大好物です。人が意識しないものがイノシシの食糧となってしまいます。
- 収穫残さは適正に処置し、不要な竹林や放任果樹は伐採するなどして、**無意識の餌付けをなくしましょう。**

それ! イノシシが「出産する場所」です!



ヤブに作られたイノシシの産室

- 草むらはイノシシの母親が出産する場所です。また、生まれたイノシシのメスはその近くで母親と一緒に行動するため被害がさらに広がります。
- 耕作放棄地やヤブは集落ぐるみで整備して**イノシシの住み家をなくしましょう。**

これ! イノシシが「くぐり抜け」できます!



柵線の間隔の広い電気柵

- イノシシは20cm程度の間隙をくぐり抜けることができます。電気柵でイノシシの侵入を防ぐためには、柵線の最下段の高さ20cm以下と電圧5,000V以上が必要です。
- 電気柵は設置方法と草刈りなどの維持管理に留意して**農地を守りましょう。**

野生イノシシの特徴

もっと知って正しく守ろう

◆繁殖力が高い！

春先に4～8頭を出産するため、短期間に個体数が増える動物です。また、栄養価の高い農林作物を食べると個体数の増加率はさらに高くなります。

お住まいの地域からイノシシの食糧をなくすことがイノシシの増加を抑制することにつながります。

◆警戒心は強いが慣れると行動が大胆に！

イノシシは、本来は臆病で警戒心が強い動物です。しかし、その場所が安全であることを覚えると行動が大胆になります。

お住まいの地域からイノシシが出産する場所や身を隠せるヤブなどの場所をなくすことがイノシシの出没を抑制することにつながります。

◆鼻は敏感！

鼻はイノシシの敏感なセンサーです。匂いや鼻に触れた感じで物を確認する探索行動を取ります。

イノシシの侵入を防ぐ電気柵は、5,000V以上の電圧があることで、柵線に触れた鼻が感電し、心理的にイノシシの侵入を防ぎます。

◆鼻の力は強い！

鼻は50～60kgの物を持ち上げる力があります。食糧を探すための土の掘り返しが得意です。

イノシシの侵入を防ぐワイヤーメッシュ柵は、下部を圃場外側に向けた折り返しを作り、掘り返しによる侵入を防いでください。

◆対策はイノシシ目線で対応！

かなり大きな個体でも20cm程度の隙間があればくぐり抜けることができます。

イノシシの侵入防止を目的に設置した各種防護柵やイノシシの侵入経路と思われる場所などは、自分がイノシシになったつもりで目線で確認して対応することが重要です。

◆学習能力が高い！

おいしい食糧が食べられた場所や電気柵に感電した場所など、イノシシは生き抜くための事象をしっかりと記憶して行動します。

地域がイノシシにとって暮らしやすい地域と覚えるか、暮らしにくい地域と覚えるかは、地域における被害対策によって変化します。